

## 10 地域交通

### 10.1 交通安全、交通混雑

計画地及びその周辺における交通の状況等を調査し、工事中における工事用車両の走行に係る交通安全及び交通流への影響について、予測及び評価を行った。

#### (1) 現況調査

##### ア 調査項目

本事業の工事に伴う交通安全及び交通流への影響について、予測及び評価を行うための基礎資料を得ることを目的として、次の項目について調査を行った。

##### (ア) 地域交通の状況

###### a 日常生活圏等の状況

(a) 通学区域、通学路の状況

(b) 公共交通機関の状況

###### b 道路の状況

(a) 道路の分布、道路状況

(b) 交通量の実態

(c) 主要交差点等における交通処理状況

###### c 交通安全の状況

(a) 交通安全施設の状況

(b) 交通事故の発生状況

##### (イ) 地形等の状況

##### (ウ) 土地利用の状況

##### (エ) 道路等に係る計画等

##### (オ) 関係法令等による基準等

##### イ 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

## ウ 調査方法等

### (ア) 調査地点

#### a 地域交通の状況

##### (a) 道路の状況

###### ① 道路の分布、道路状況

調査対象道路及び道路横断面構成の調査位置は、図 9.10.1-1(1)、(2)に示すとおりである。

調査対象道路は、工事用車両の主要な走行ルートである市道堤根 2 号線、市道柳町 8 号線、県道川崎町田線（一部、市道川崎町田線）、市道大宮町 202 号線とした。

###### ② 交通量の実態

交通量に係る調査地点は、図 9.10.1-1(1)、(2)に示す 4 交差点及び 5 断面とした。

- ・ 交差点 A : 南幸町二丁目交差点
- ・ 交差点 B : 柳町交差点
- ・ 交差点 C : (仮称) 西口さくら緑地前交差点
- ・ 交差点 D : シンフォニーホール前交差点
- ・ 地点 1 : 市道堤根 2 号線
- ・ 地点 2 : 県道川崎町田線
- ・ 地点 3 : 県道川崎町田線
- ・ 地点 4 : 市道柳町 8 号線
- ・ 地点 5 : 市道大宮町 202 号線

###### ③ 主要交差部等における交通処理状況

調査地点は、交差点 A（南幸町二丁目交差点）、交差点 B（柳町交差点）、交差点 C（(仮称) 西口さくら緑地前交差点）及び交差点 D（シンフォニーホール前交差点）の 4 交差点とした。

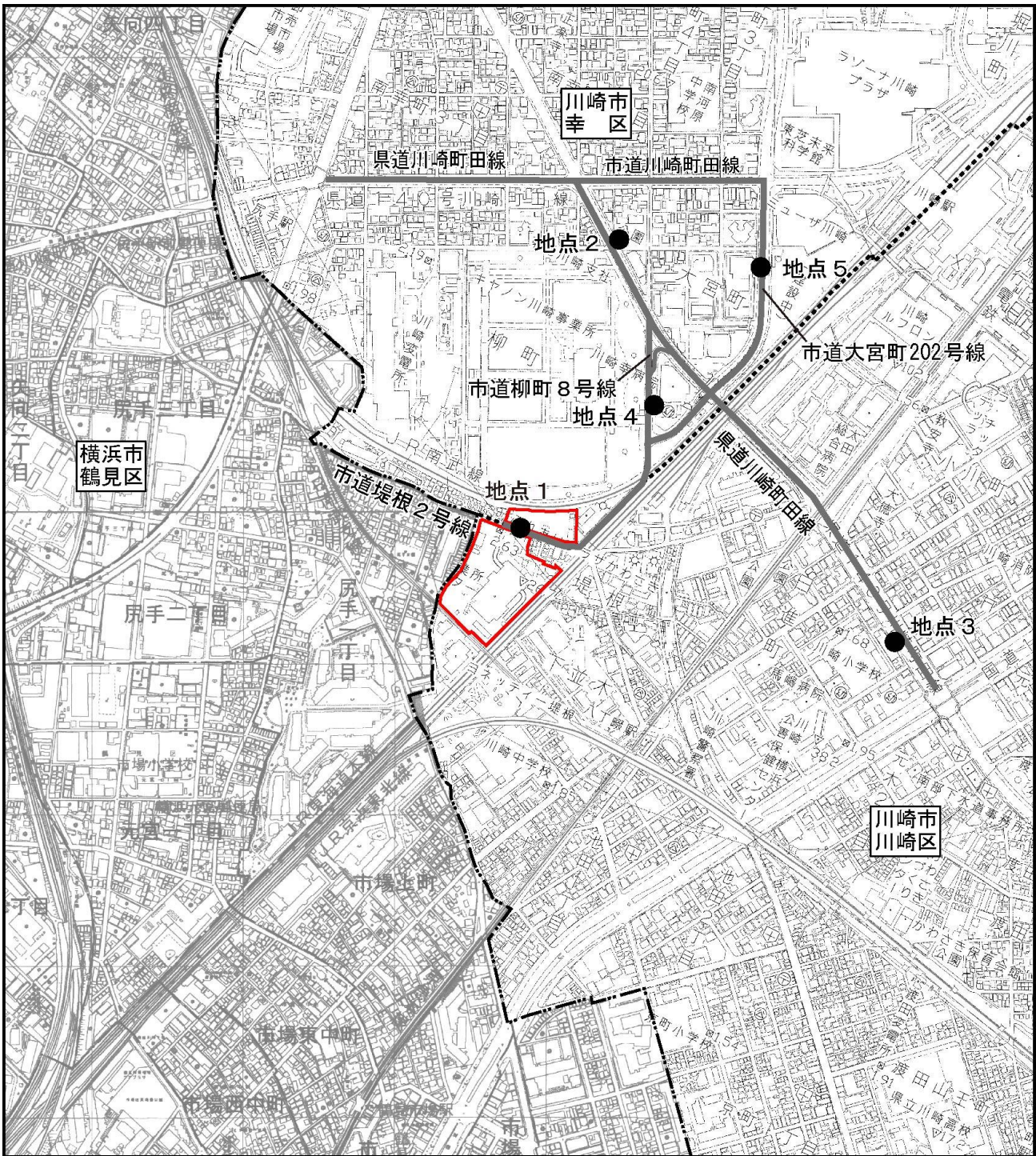
##### (b) 交通安全の状況

###### ① 交通安全施設の状況

「(a) 道路の状況 ①道路の分布、道路状況」と同様とした。

###### ② 交通事故の発生状況

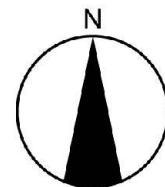
「① 交通安全施設の状況」と同様とした。



凡例

- 計画地
- · · · 市境
- · · · · 区境
- 調査対象道路
- 断面交通量調査地点、道路状況調査地点

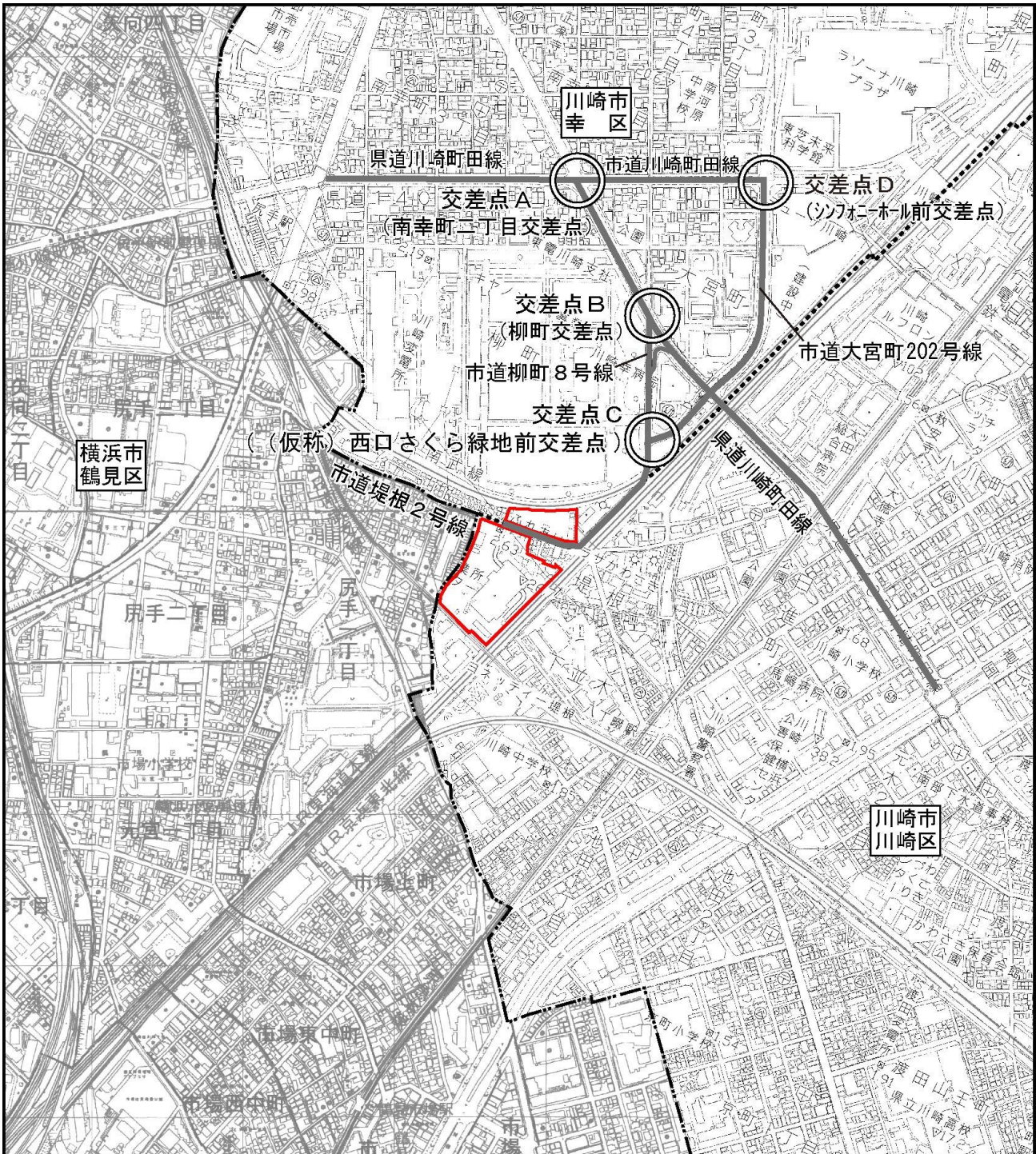
この地図は、「川崎市1：10,000地形図(川崎区図)」(川崎市)、「横浜市行政区図(鶴見区図)」(横浜市)を使用したものである。



1 : 10,000

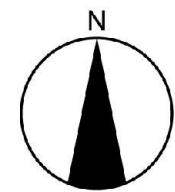


図9.10.1-1(1) 断面交通量等の調査地点図



凡例

- 計画地
- · — · 市境
- 区境
- 調査対象道路
- ◎ 交差点交通量調査地点、道路状況調査地点  
及び主要交差部等における交通処理状況調査地点



1 : 10,000



この地図は、「川崎市1:10,000地形図(川崎区図)」(川崎市)、「横浜市行政区図(鶴見区図)」(横浜市)を使用したものである。

図9.10.1-1(2) 交差点交通量等の調査地点図

(イ) 調査期間・調査時期

a 地域交通の状況

(a) 日常生活圏等の状況

① 通学区域、通学路の状況

調査時期は、令和5年8月25日(金)とした。

② 公共交通機関の状況

調査時期は、「① 通学区域、通学路の状況」と同様とした。

(b) 道路の状況

① 道路の分布、道路の状況

調査時期は、「(a) 日常生活圏等の状況 ① 通学区域、通学路の状況」と同様した。

② 自動車交通量の状況

調査時期は、以下のとおりとした。

・断面交通量 : 令和2年11月24日(火)6時~25日(水)6時(24時間)

・交差点交通量 : 令和2年11月24日(火)7時~19時(12時間)

③ 主要交差点部等における交通処理状況

調査時期は、令和2年11月24日(火)7時~19時(12時間)とした。

(c) 交通安全の状況

① 交通安全施設の状況

調査時期は、「(a) 日常生活圏等の状況 ① 通学区域、通学路の状況」と同様した。

② 交通事故の発生状況

調査時期は、令和5年7月4日(火)、6日(木)とした。

b 地形等の状況

調査時期は、「(a) 日常生活圏等の状況 ① 通学区域、通学路の状況」と同様とした。

c 土地利用の状況

調査時期は、「(a) 日常生活圏等の状況 ① 通学区域、通学路の状況」と同様とした。

(ウ) 調査方法

a 地域交通の状況

(a) 日常生活圏等の状況

① 通学区域、通学路の状況

通学区域、指定通学路の状況は、川崎市教育委員会への聞き取り調査により把握した。

② 公共交通機関の状況

公共交通機関の状況は、地形図等の既存資料及び現地踏査により把握した。

(b) 道路の状況

① 道路の分布、道路状況

道路の分布は、地形図、都市計画図等の既存資料により、道路状況（車線数、規制速度、道路横断面構成等）は、現地調査により把握した。

② 交通量の実態

交通量の実態については、自動車交通量を現地調査により把握した。

調査は、通過する車両の台数を方向別、時間別及び車種別にハンドカウンターを用いて観測した。なお、車種分類は表 9.10.1-1 に示すとおり、ナンバープレートにより区分し、自動車類（2車種分類）及び二輪車とした。

表 9.10.1-1 自動車交通量の車種分類

分類	車種分類	対応するプレート番号
自動車類	小型車	50～59（黄または黒）3 <sup>S</sup> 及び33 <sup>S</sup> 、8 <sup>S</sup> 及び88 <sup>S</sup>
		3,30～39及び300～399（普通乗用自動車）
		5,50～59及び500～599（小型四輪乗用自動車）
		7,70～79及び700～799（小型四輪乗用自動車）
		8,80～89及び800～899（特種用途車）
		40～49（黄または黒）3 <sup>S</sup> 及び33 <sup>S</sup> 、6 <sup>S</sup> 及び66 <sup>S</sup>
		4,40～49及び400～499、6,60～69及び600～699（小型四輪貨物自動車、ただし貨客車を除く）
	4,40～49及び400～499、6,60～69及び600～699（小型四輪貨物自動車）のうち、いわゆるライトバン、ピックアップ、バンなどの型式で座席が2列以上あるもの	
	大型車	2,20～29及び200～299
		1,10～19及び100～199
8,80～89及び800～899（特種用途車）と 9,90～99及び900～999ならびに0,00～09及び000～099（特殊自動車）		
二輪車	原動機付自転車を含む自動二輪車	

注1) プレート番号の「(黄または黒)」は、「黄地に黒文字または黒地に黄文字」を意味し、添字Sは、小型プレートを意味する。

注2) 「道路環境影響評価の技術手法」を基に作成。

③ 主要交差点等における交通処理状況

主要交差点等における交通処理状況は、信号現示を現地調査により把握した。

また、渋滞長・滞留長に係る現地調査については、現地踏査により現地状況を確認し、交通混雑による渋滞の発生が確認されなかったことから、実施しないこととした。なお、飽和交通流率に係る現地調査については、交差点において十分な待ち行列がない車線が存在するほか、先詰まりの発生や左折車と歩行者との交錯、右折車が対向直進車の間隙を縫って進行する信号現示となっている等の状況を踏まえ、実施しないこととした。

(c) 交通安全の状況

① 交通安全施設の状況

信号機、横断歩道等の位置及び歩車分離状況について、現地踏査により把握した。

② 交通事故の発生状況

調査対象道路における令和4年の交通事故の発生件数、発生地点及び事故の内容について川崎警察署及び幸警察署への聞き取り調査により把握した。

b 地形等の状況

地形図等の既存資料による調査及び現地踏査により把握した。

c 土地利用の状況

地形図、都市計画図等の既存資料による調査及び現地踏査により把握した。

d 道路等に係る計画等

国及び川崎市の道路整備の計画等の既存資料により把握した。

e 関係法令等による基準等

次の関係法令等の内容を整理した。

- ・「地域環境管理計画」の地域別環境保全水準

## エ 調査結果

### (ア) 地域交通の状況

#### a 日常生活圏等の状況

##### (a) 通学区域、通学路の状況

小学校及び中学校の位置及び校区は、図 9.10.1-2(1)、(2)に示すとおりである。

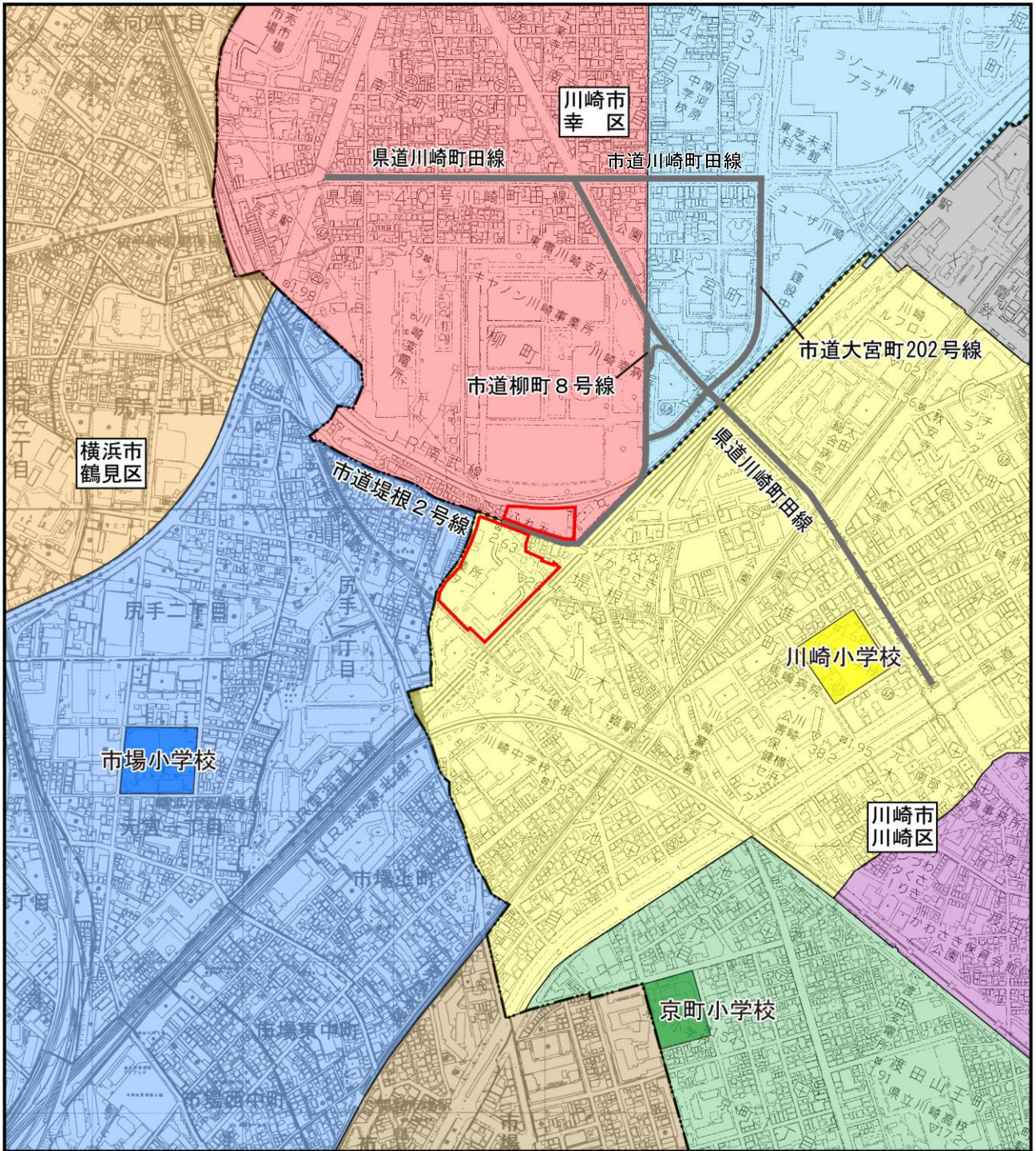
本事業の調査対象道路は、川崎小学校区、南河原小学校区、幸町小学校区のほか、川崎中学校区、南河原中学校区に位置しており、一部が川崎小学校、南河原小学校及び幸町小学校の指定通学路となっている。

##### (b) 公共交通機関の状況

公共交通機関の状況は、「第7章 1 (7) 交通、運輸の状況」(118 ページ参照)に示したとおりであり、最寄りのバス停は、計画地西側の横浜市営バスの「尻手」であり、最寄りのバス停から計画地までは約 250m となっている。

また、鉄道については、計画地の南東側約 300m の位置に JR 南武支線及び京急本線の「八丁畷駅」が存在する。





凡例

- 計画地
- 市境
- 区境
- 調査対象道路
- 川崎小学校学区
- 京町小学校学区
- 宮前小学校学区
- 新町小学校学区
- 南河原小学校学区
- 幸町小学校学区
- 矢向小学校学区
- 市場小学校学区
- 平安小学校学区

この地図は、「川崎市 1:10,000 地形図 (川崎区図)」（川崎市）、「横浜市行政区図 (鶴見区図)」（横浜市）を使用したものである。

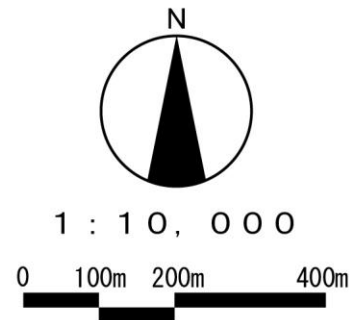
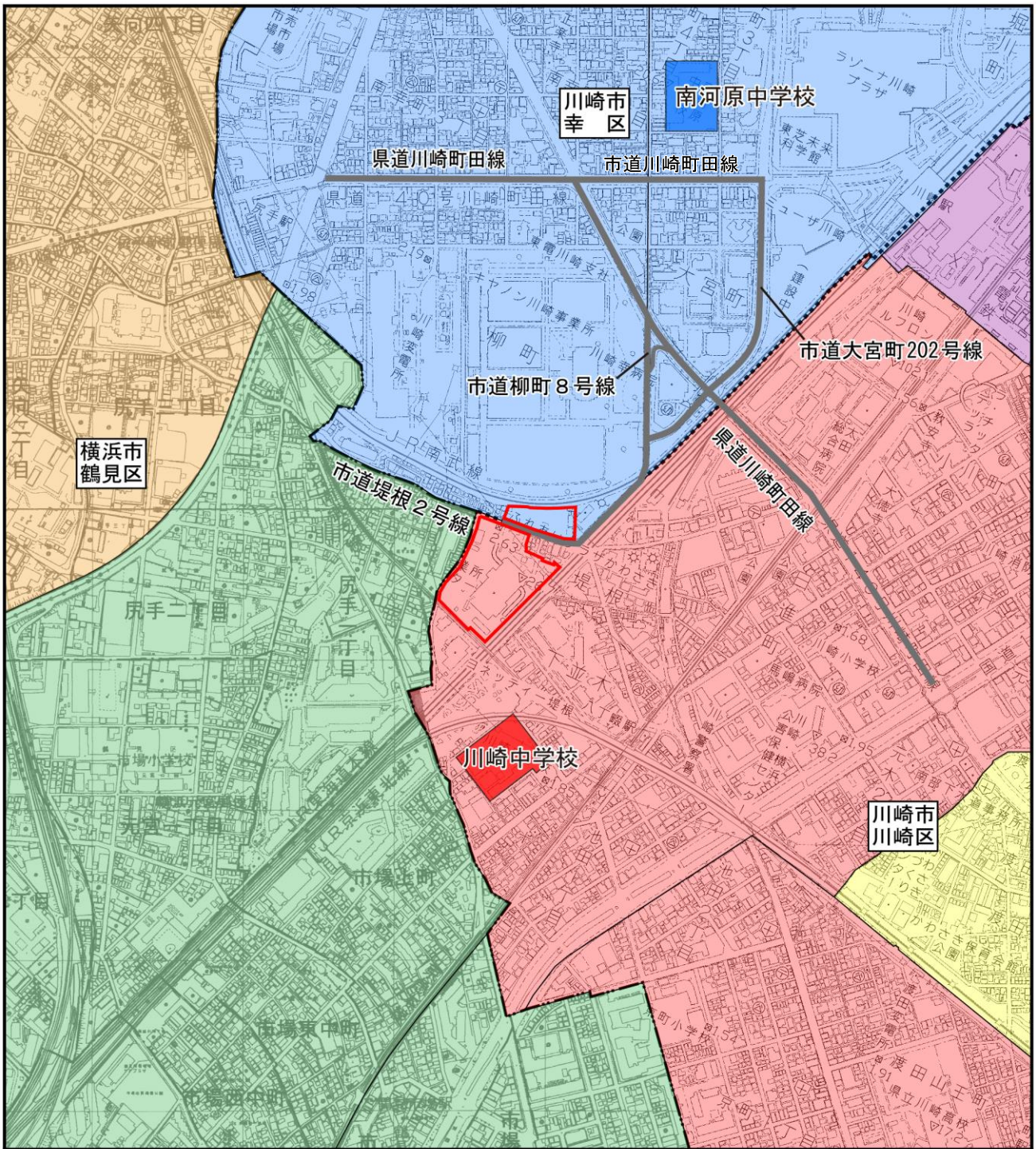












図9.10.1-2(1) 小学校区の状態



凡 例

- |  |  |
|--|--|
|  計画地    |  川崎中学校学区  |
|  市境     |  南河原中学校学区 |
|  区境     |  富士見中学校学区 |
|  調査対象道路 |  渡田中学校学区  |
|  |  矢向中学校学区  |
|  |  市場中学校学区  |

この地図は、「川崎市1：10,000地形図（川崎区図）」（川崎市）、  
「横浜市行政区図（鶴見区図）」（横浜市）を使用したものである。

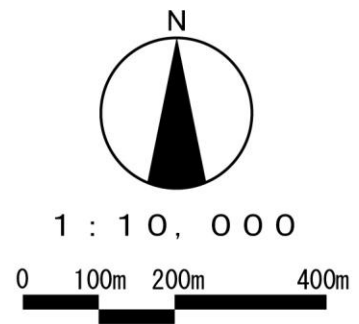


図9.10.1-2(2) 中学校区の状況

## b 道路の状況

### (a) 道路の分布

#### ① 道路の分布、道路状況

計画地周辺の主要道路網は、図 9.10.1-3 に示すとおりである。

計画地周辺の主要な道路としては、計画地には市道堤根 2 号線が面しており、北東側に市道柳町 8 号線、県道川崎町田線、市道大宮町 202 号線等が存在する。

#### ② 道路状況

調査対象道路の道路横断面構成は、図 9.10.1-4(1)、(2)に、車線数及び規制速度等は図 9.10.1-3 に示すとおりである。また、主要な交差点における交通規制状況は、図 9.10.1-5(1)～(4)に示すとおりである。

##### 地点 1 (市道堤根 2 号線)

計画地北側に面する道路であり、道路幅員約 10.5m、2 車線、法定速度(自動車：60km/時)となっている。

##### 地点 2 (県道川崎町田線)

計画地北東側にある道路であり、道路幅員約 21.5m、4 車線、規制速度は 50km/時となっている。

##### 地点 3 (県道川崎町田線)

計画地北東側にある道路であり、道路幅員約 36.1m、6 車線、規制速度は 50km/時となっている。

##### 地点 4 (市道柳町 8 号線)

計画地北東側にある道路であり、道路幅員約 20.1m、2 車線、法定速度(自動車：60km/時)となっている。

##### 地点 5 (市道大宮町 202 号線)

計画地北東側にある道路であり、道路幅員約 24.3m、4 車線、規制速度は 40km/時となっている。



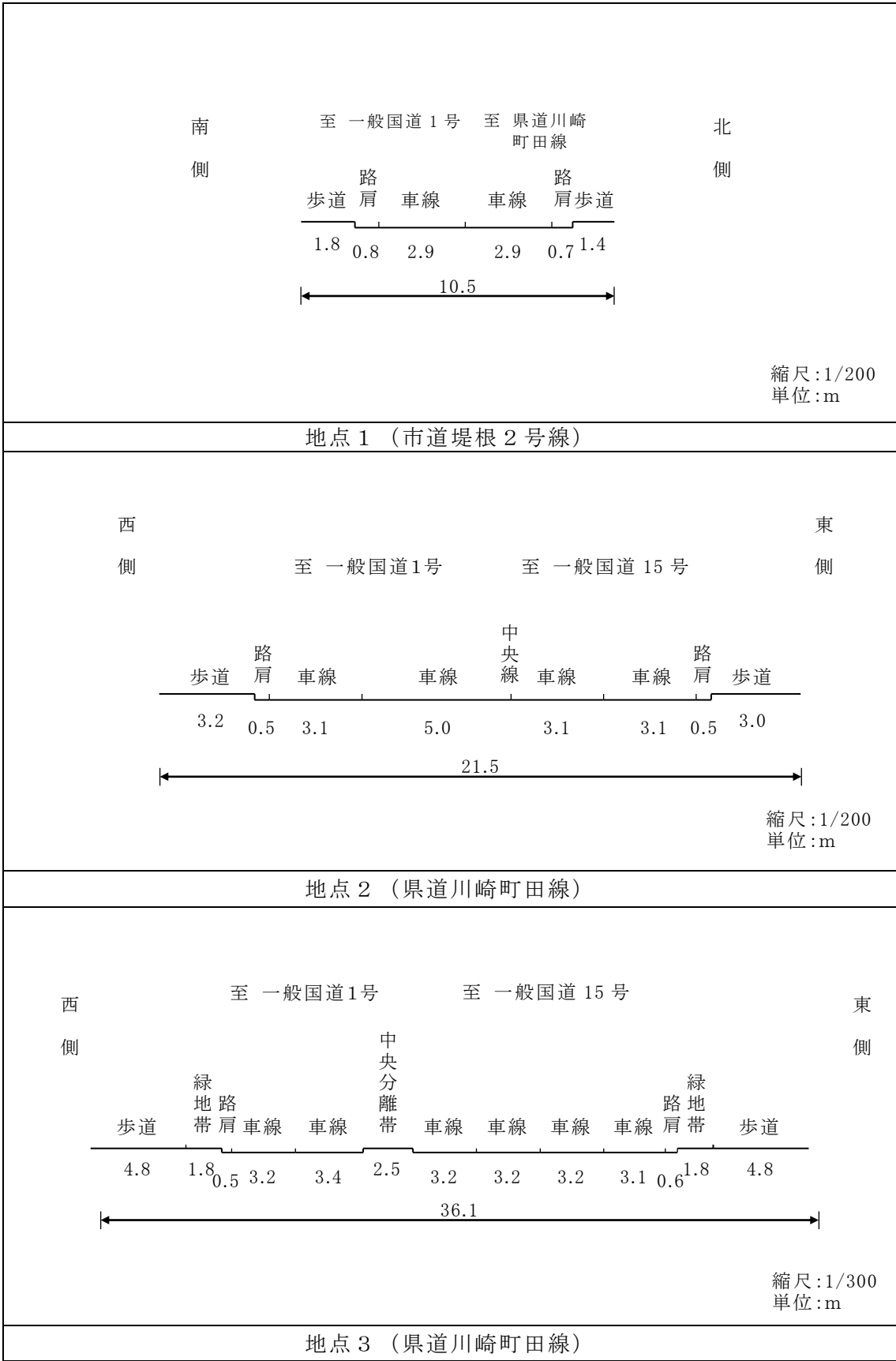
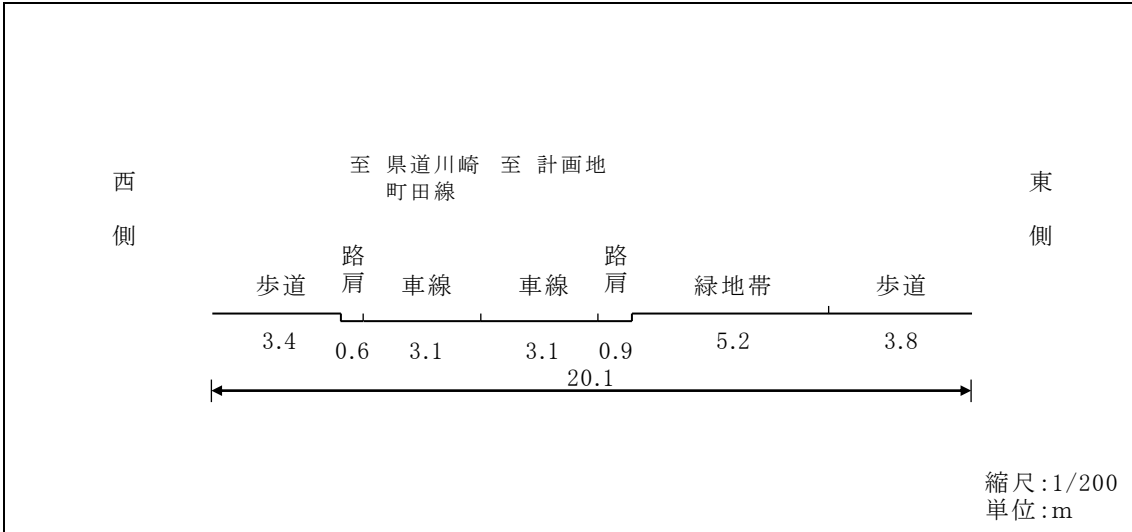
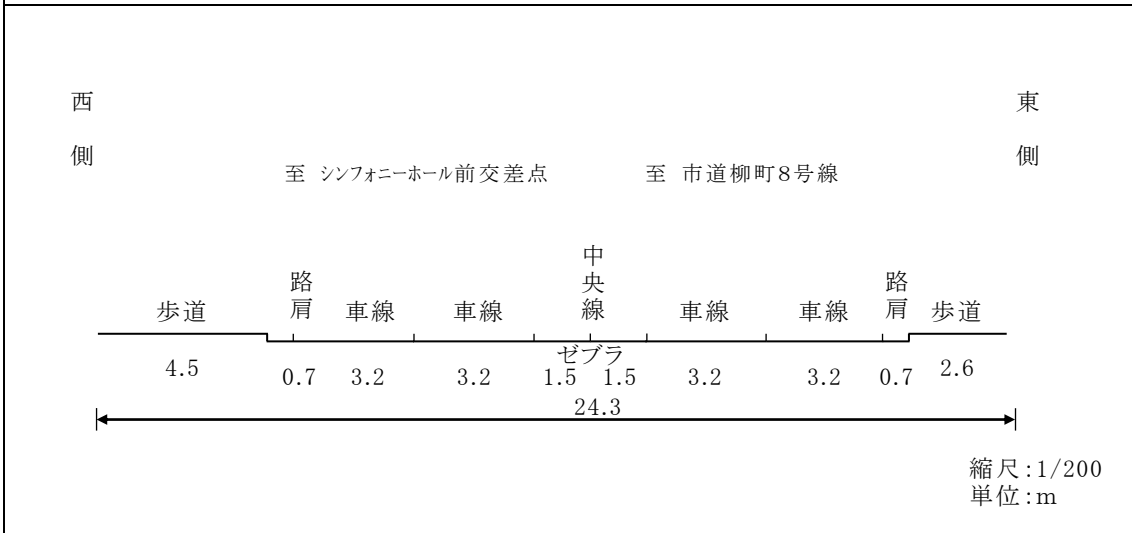


図9.10.1-4(1) 道路横断面構成



地点4 (市道柳町8号線)



地点5 (市道大宮町202号線)

図9.10.1-4(2) 道路横断面構成



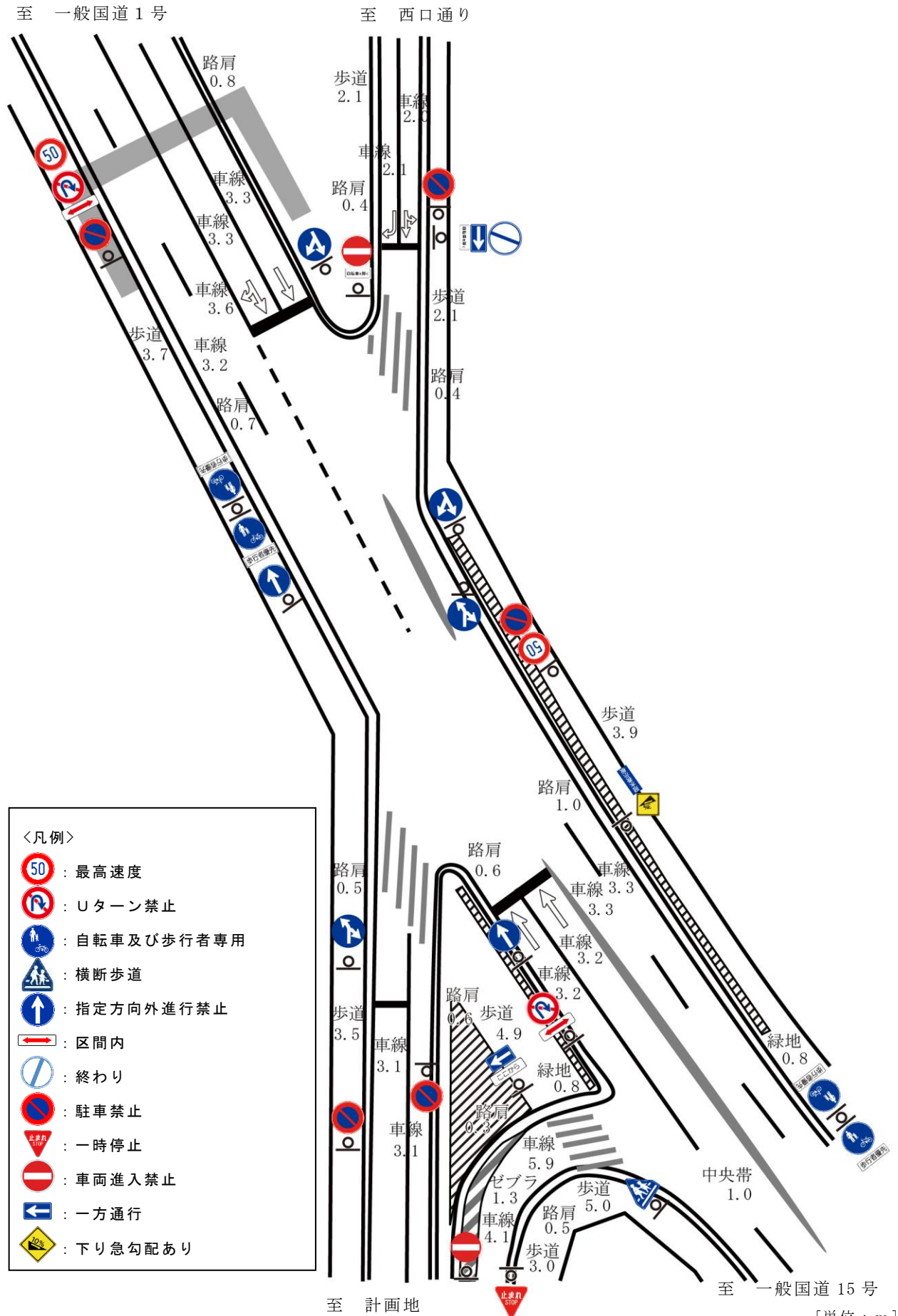


図9.10.1-5(2) 交通規制状況及び道路状況図（交差点B：柳町交差点）



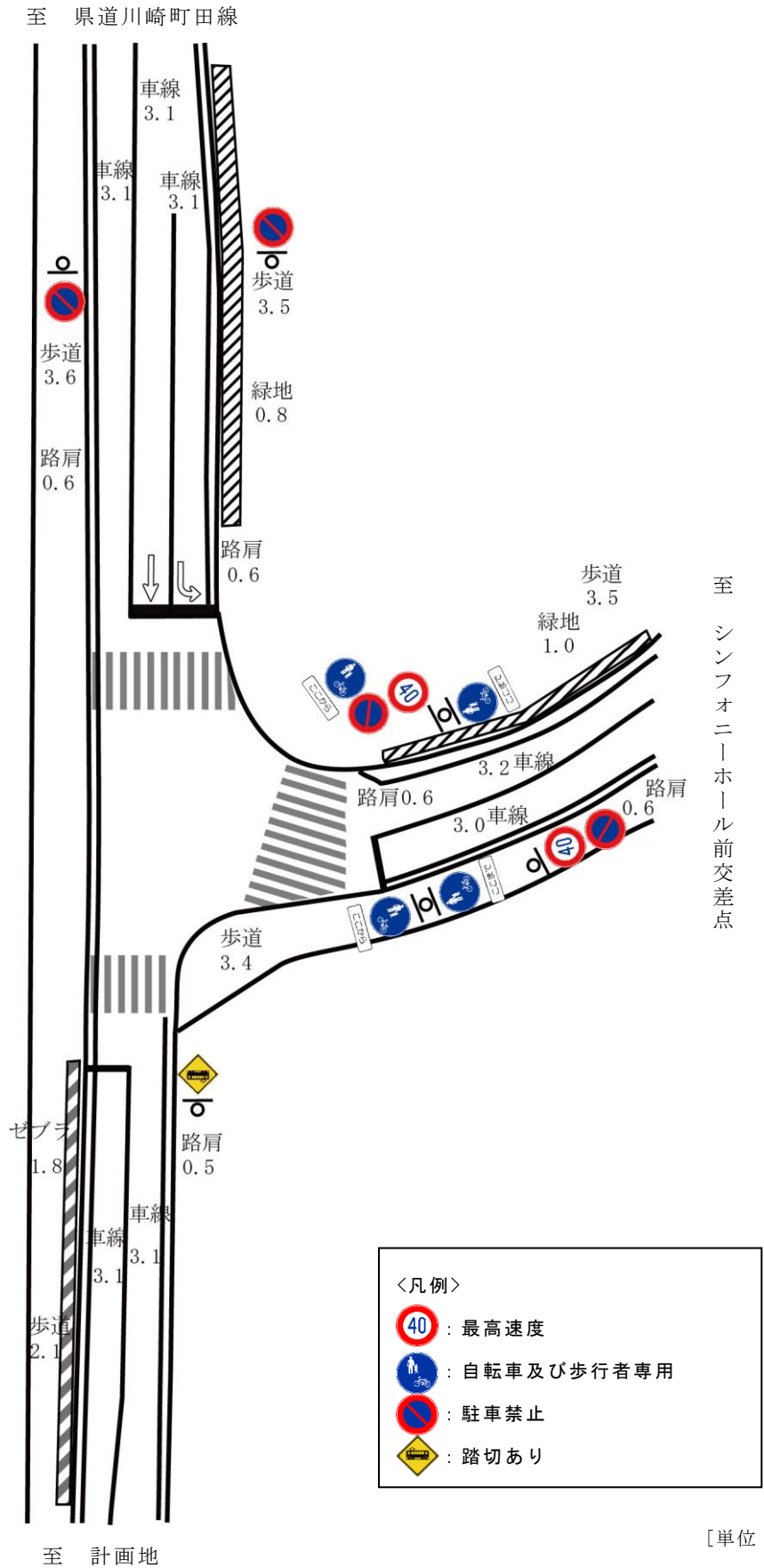


図9.10.1-5(3) 交通規制状況及び道路状況図（交差点C：(仮称)西口さくら緑地前交差点）



(b) 交通量の実態

自動車交通量の調査結果は、表9.10.1-2、表9.10.1-3及び図9.10.1-6(1)、(2)に示すとおりである。

1日あたりの交通量は、地点1で4,132台、地点2で33,008台、地点3で33,119台、地点4で3,934台、地点5で4,552台となっており、ピーク時間帯は地点1で17時台、地点2及び地点3で7時台、地点4で14時台、地点5で16時台となっている。

また、交差点における総流入交通量(12時間交通量)は、交差点Aで30,862台、交差点Bで26,342台、交差点Cで4,340台、交差点Dで12,228台となっており、ピーク時間帯は交差点Aで7時台、8時台、16時台及び18時台、交差点Bで7時台、8時台、15時台、17時台及び18時台、交差点Cで7時台及び17時台、交差点Dで10時台、17時台及び18時台となっている。

なお、自動車交通量の調査結果の詳細は、資料編(資料11-1、資-151ページ参照)に示す。

表9.10.1-2 断面交通量結果

調査地点	項目	24時間交通量(台/日)				ピーク時間帯交通量	
		小型車	大型車	合計	大型車混入率(%)	時間帯(時)	交通量(台/時)
地点1(市道堤根2号線)		3,846	286	4,132	6.9	17時台	382
地点2(県道川崎町田線)		27,185	5,823	33,008	17.6	7時台	2,103
地点3(県道川崎町田線)		27,325	5,794	33,119	17.5	7時台	2,202
地点4(市道柳町8号線)		3,598	336	3,934	8.5	14時台	308
地点5(市道大宮町202号線)		4,089	463	4,552	10.2	16時台	420

注) 地点5(市道大宮町202号線)の調査結果は、交差点D(シンフォニーホール前交差点)の断面cの交通量調査結果を使用したものであり、12時間交通量を示している。

表9.10.1-3 交差点交通量結果（流入交通量）

調査地点		項目	12時間交通量（台/12時間）				ピーク時間帯交通量	
			小型車	大型車	合計	大型車混入率（%）	時間帯（時）	交通量（台/時）
交差点A （南幸町二丁目 交差点）	断面 a	5,179	1,099	6,278	17.5	7時台	816	
	断面 b	2,529	822	3,351	24.5	16時台	357	
	断面 c	9,993	2,008	12,001	16.7	18時台	1,167	
	断面 d	7,574	1,658	9,232	18.0	8時台	952	
	交差点 総流入	25,275	5,587	30,862	18.1	7時台	2,768	
交差点B （柳町交差点）	断面 a	1,162	95	1,257	7.6	15時台	136	
	断面 b	11,280	2,018	13,298	15.2	17時台 18時台	1,396	
	断面 c	826	119	945	12.6	7時台	119	
	断面 d	8,972	1,870	10,842	17.2	8時台	1,209	
	交差点 総流入	22,240	4,102	26,342	15.6	8時台	2,472	
交差点C （(仮称)西口さ くら緑地前交差 点）	断面 a	2,143	176	2,319	7.6	17時台	290	
	断面 b	732	74	806	9.2	17時台	102	
	断面 c	1,111	104	1,215	8.6	7時台	215	
	交差点 総流入	3,986	354	4,340	8.2	17時台	459	
交差点D （シンフォニー ホール前交差 点）	断面 a	2,422	323	2,745	11.8	17時台	300	
	断面 b	2,609	777	3,386	22.9	18時台	340	
	断面 c	1,716	161	1,877	8.6	10時台	195	
	断面 d	3,289	931	4,220	22.1	10時台	406	
	交差点 総流入	10,036	2,192	12,228	17.9	16時台	1,176	

注) 交差点総流入は、各断面交通量のうち交差点に流入する台数の合計を示している。

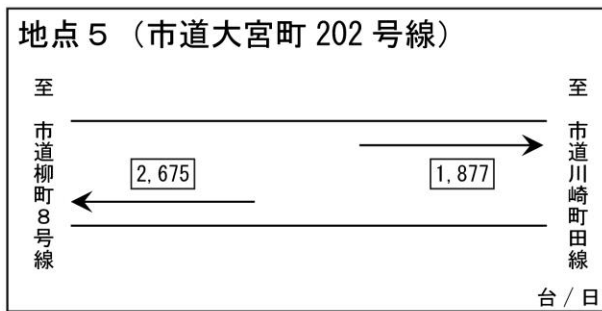
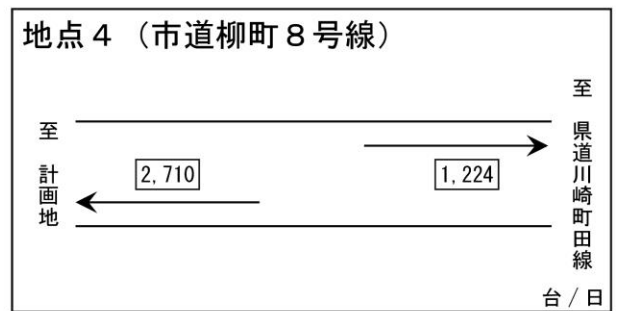
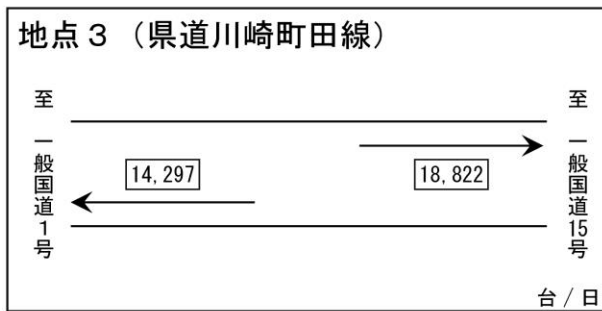
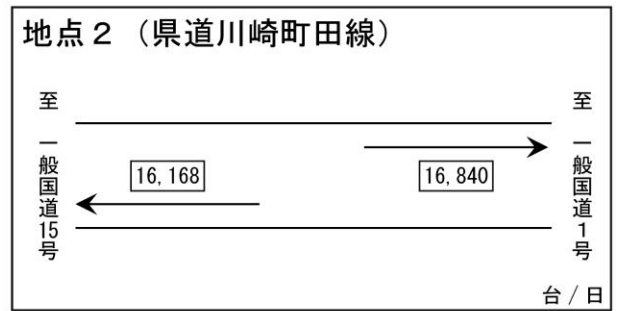
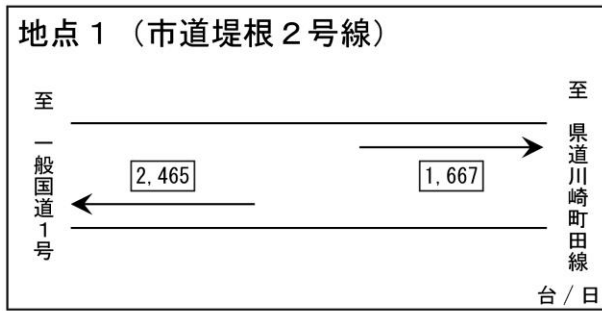


図9.10.1-6(1) 交通量調査結果図

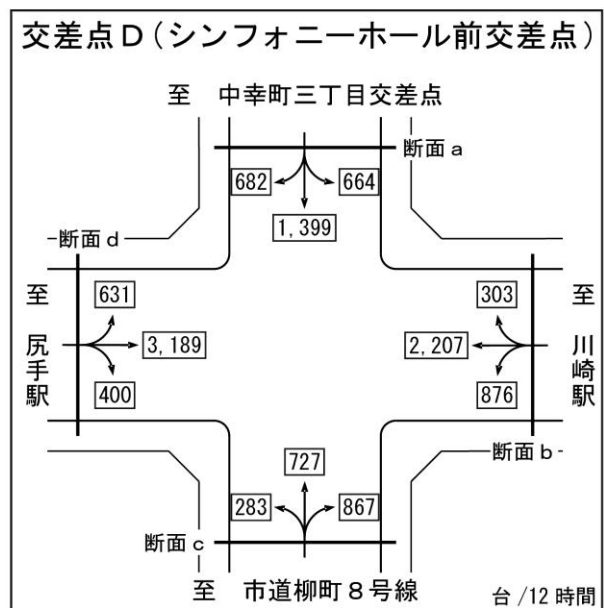
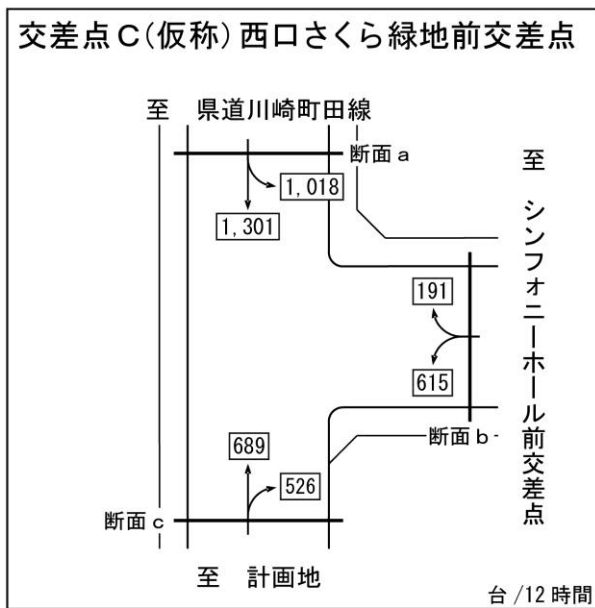
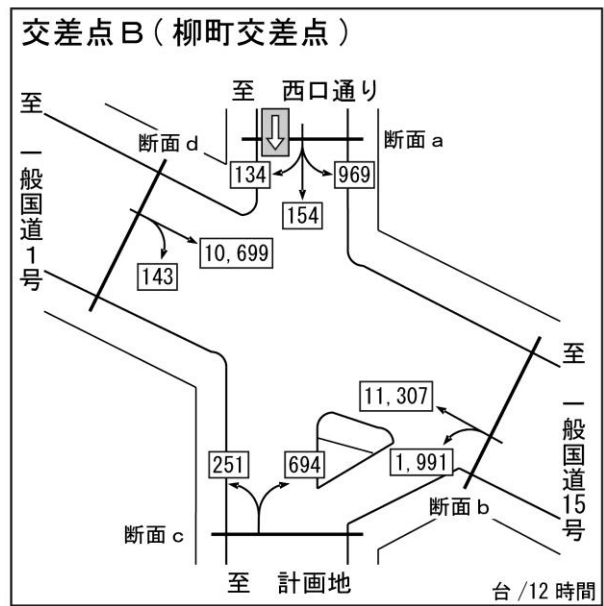
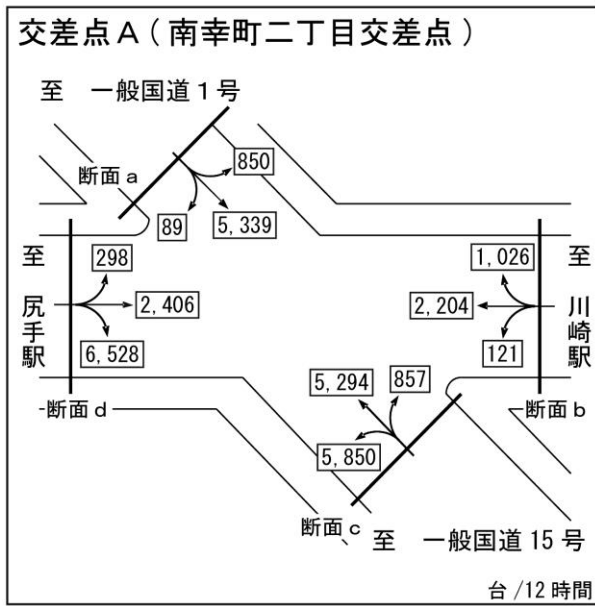


図9.10.1-6(2) 交通量調査結果図

(c) 主要交差点部等における交通処理状況

主要交差点部等における交通処理状況として調査を行った4交差点では、著しい渋滞等の発生は確認されなかった。なお、信号現示に係る調査結果の詳細は、資料編（資料11-1、資-151ページ参照）に示す。

c 交通安全の状況

(a) 交通安全施設の状況

マウントアップ、植栽帯、ガードポール等による歩車分離状況は、図9.10.1-7に、信号機、横断歩道等の交通安全施設の設置状況は、図9.10.1-8に示すとおりである。

① 市道堤根2号線

調査対象道路は、概ねマウントアップ、ガードポール等により歩車分離がなされている。

② 市道柳町8号線

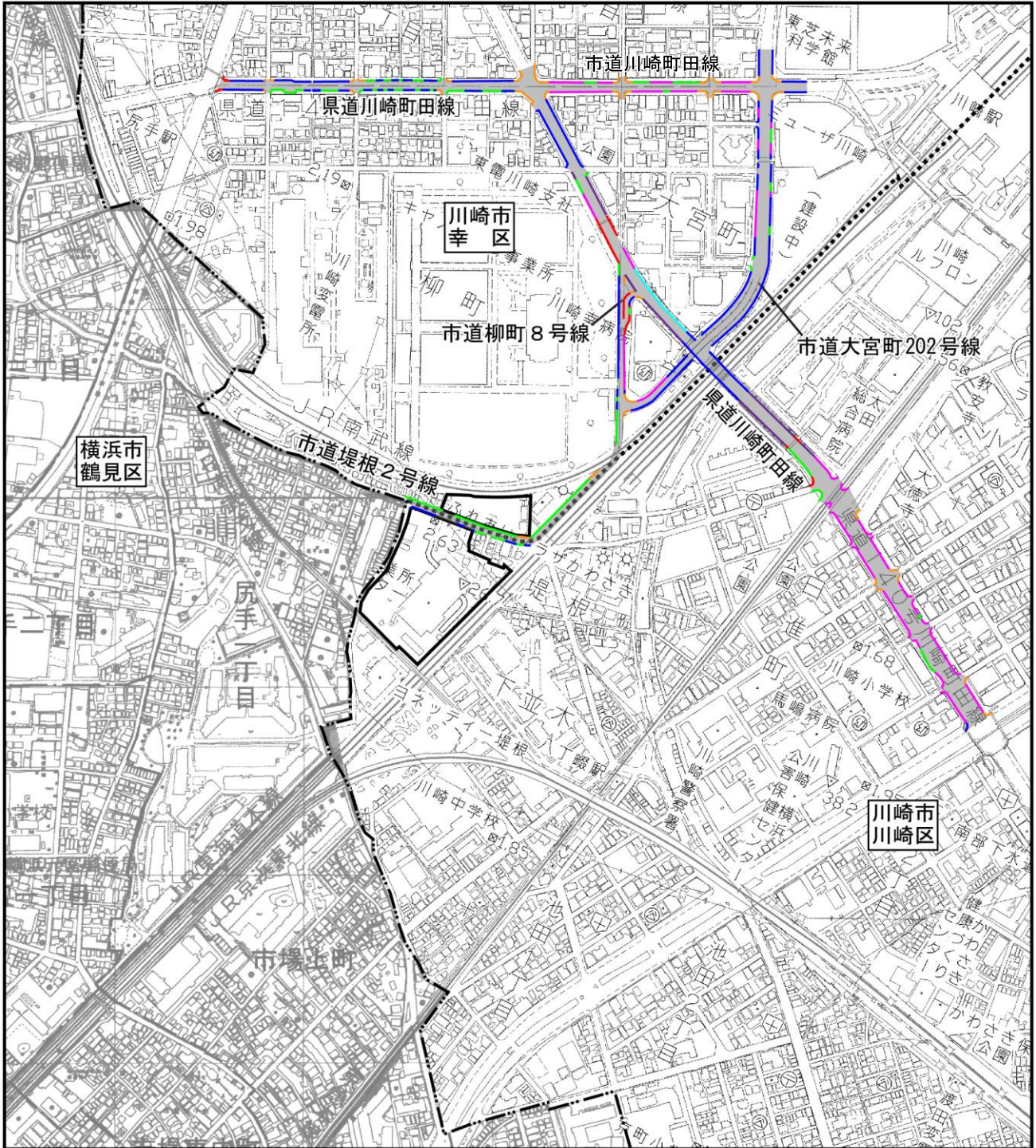
調査対象道路は、JR南武線との交差点付近からJR東海道本線・京浜東北線との並行区間の一部を除き、概ねマウントアップ、ガードポール、植栽帯等により歩車分離がなされており、横断歩道設置箇所には信号機が設置されている。

③ 県道川崎町田線（一部、市道川崎町田線）

調査対象道路は、概ねマウントアップ、植栽帯、ガードポール等により歩車分離がなされており、横断歩道設置箇所には信号機が設置されている。

④ 市道大宮町202号線

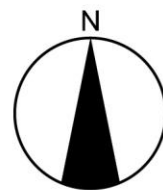
調査対象道路は、概ねマウントアップ、ガードポール等により歩車分離がなされており、横断歩道設置箇所には横断歩道設置箇所には信号機が設置されている。



凡例

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| —— 計画地   | —— マウントアップ             |
| - - - 市境 | —— マウントアップ+植栽帯         |
| ..... 区境 | —— マウントアップ+車止め         |
|          | —— マウントアップ+ガードポール      |
|          | —— マウントアップ+ガードレール      |
|          | —— マウントアップ+ガードレール+植栽帯  |
|          | —— マウントアップ+ガードフェンス+植栽帯 |
|          | ■ 調査対象道路               |

この地図は、「川崎市1:10,000地形図(川崎区図)」(川崎市)、「横浜市行政区図(鶴見区図)」(横浜市)を使用したものである。

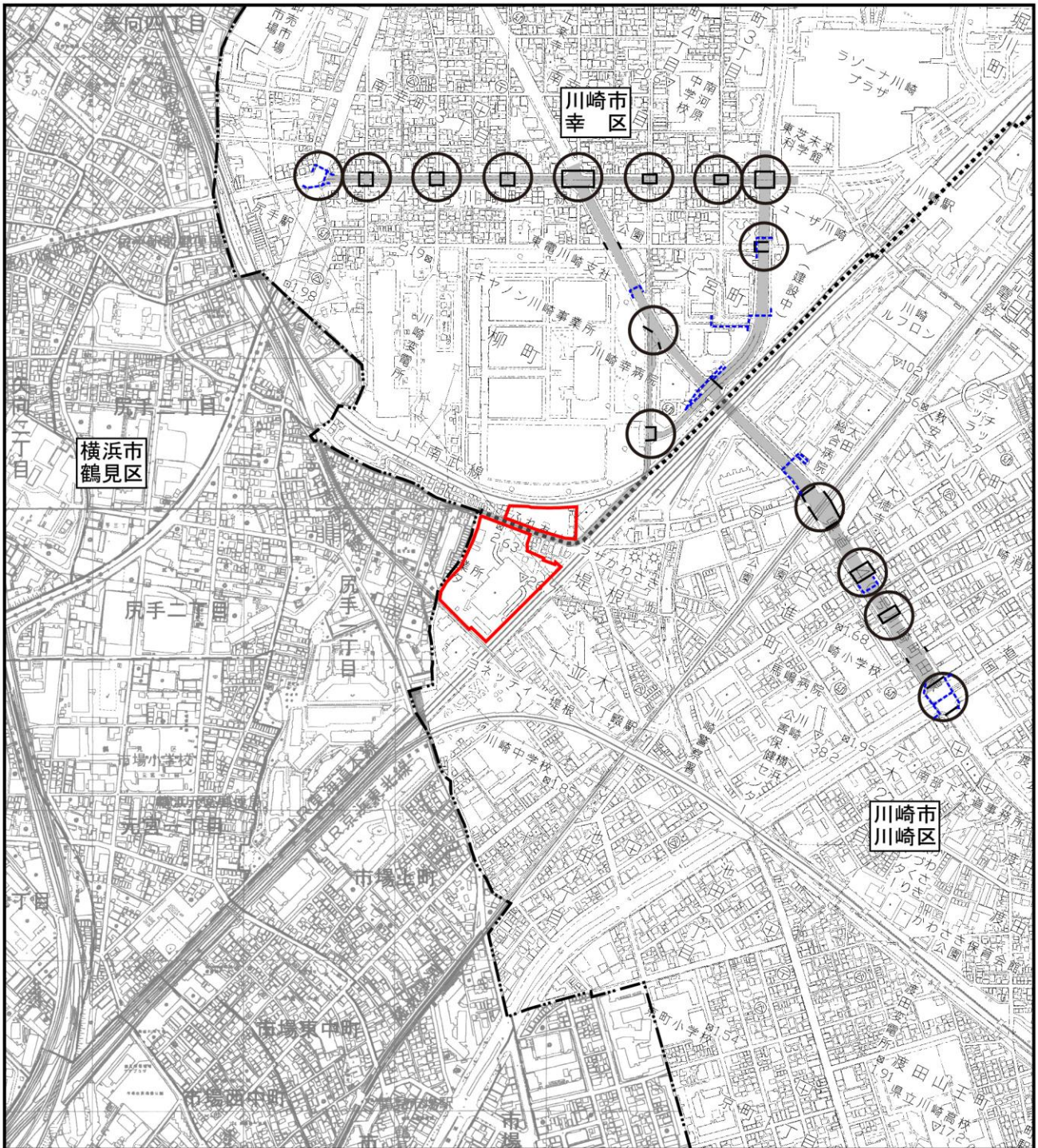


1 : 8, 000



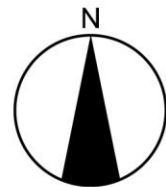
図9.10.1-7 歩車分離状況





凡 例

- 計画地
- · — · 市境
- 区境
- 信号機
- 横断歩道
- 歩道橋
- 調査対象道路



1 : 10, 000



この地図は、「川崎市 1 : 10,000 地形図 (川崎区図)」（川崎市）、「横浜市行政区図 (鶴見区図)」（横浜市）を使用したものである。

図9.10.1-8 交通安全施設の設置状況

(b) 交通事故の発生状況

調査対象道路における令和4年の交通事故の発生状況は、表9.10.1-4及び図9.10.1-9に示すとおりである。

交通事故の発生形態をみると、自動車対自動車と自動車対自転車がいずれも8件と最も多く、次いで自動車対歩行者が4件となっている。

表9.10.1-4 交通事故発生状況

—令和4年—

事故形態	件数
自動車対自動車	8
自動車対自動二輪車	2
自動車対自転車	8
自動車対原動機付自転車	2
自動車対歩行者	4
自転車対歩行者	3
合計	29

出典：川崎警察署及び幸警察署ヒアリング

(イ) 地形等の状況

計画地及びその周辺は、概ね平坦な地形となっている。

(ウ) 土地利用の状況

計画地には既存の堤根処理センターが存在しており、計画地近傍には、北西側及び北東側の一部に戸建住宅や中層住宅がみられるほか、鉄道や余熱利用市民施設が存在している。

また、計画地の周辺の土地利用をみると、住宅用地、集合住宅用地のほか、業務施設用地や学校等の文教・厚生用地など、様々な土地利用がなされている。

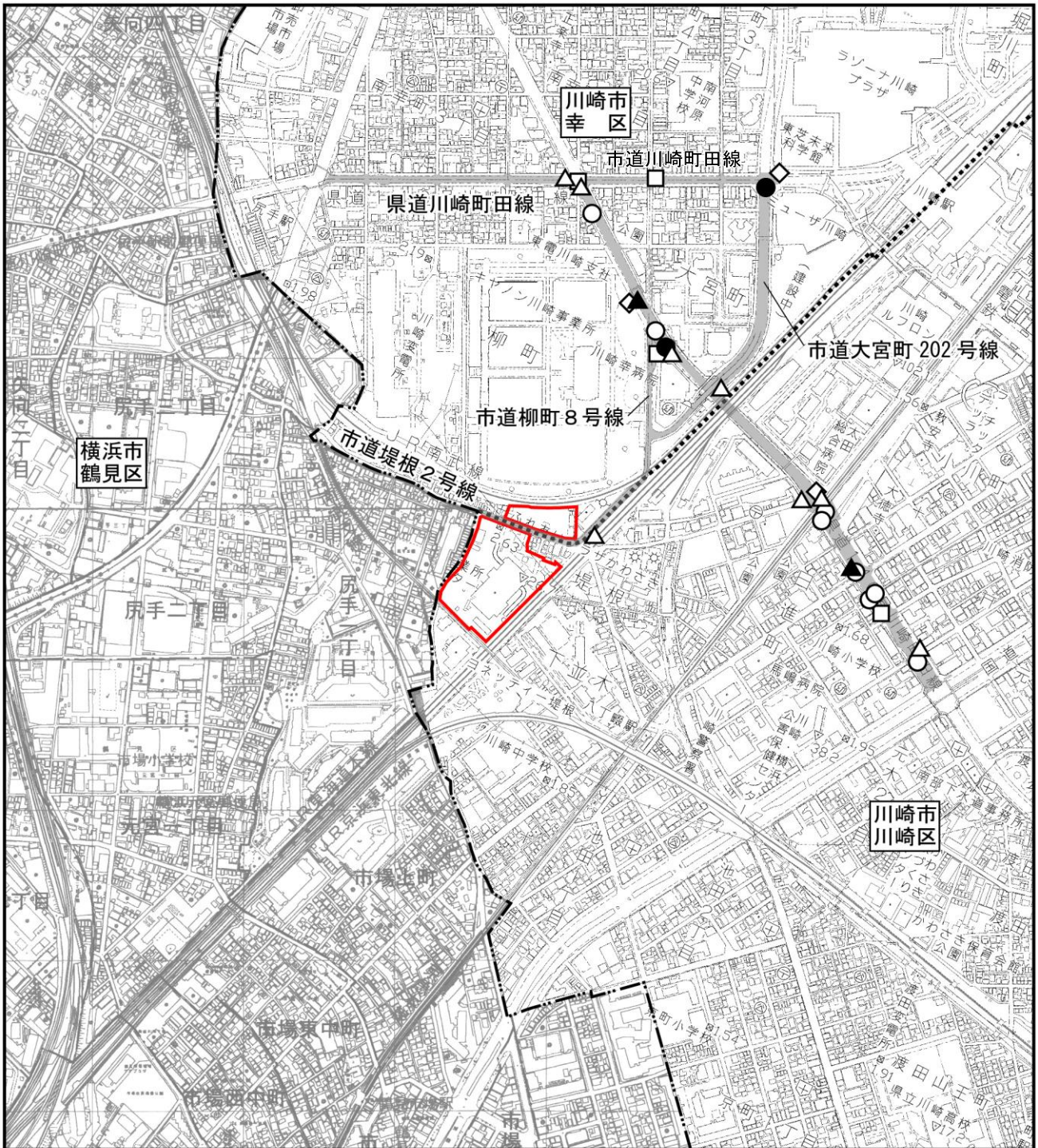
(エ) 道路等に係る計画等

調査対象道路との関連が想定される道路等に係る計画はない。

(オ) 関係法令等による基準等

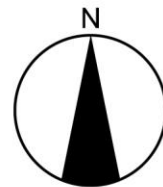
a 地域環境管理計画の地域別環境保全水準

地域環境管理計画の地域別環境保全水準は、交通安全、交通混雑については、「生活環境の保全に支障のないこと。」と定められている。



凡例

- |  |        |  |               |
|--|--------|--|---------------|
|  | 計画地    |  | 自動車 対 自動車     |
|  | 市境     |  | 自動車 対 自動二輪車   |
|  | 区境     |  | 自動車 対 自転車     |
|  | 調査対象道路 |  | 自動車 対 原動機付自転車 |
|  |        |  | 自動車 対 歩行者     |
|  |        |  | 自転車 対 歩行者     |



1 : 10,000



この地図は、「川崎市1：10,000地形図(川崎区図)」(川崎市)、「横浜市行政区図(鶴見区図)」(横浜市)を使用したものである。

図9.10.1-9 交通事故の発生状況